

令和2年10月1日

小山市長 令和2年10月 定例記者会見

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 発表内容
 - 1 小山市 インスタグラム フォト募集について
～みなさんの「#小山の魅力」を教えてください!～
【秘書広報課】
 - 2 小山市役所新庁舎の建設工事現場見学会の開催について
～順調・着実に工事が進む新庁舎の工事現場を見学できるチャンスです～
【総合政策部 総合政策課】
 - 3 小山市ふれあい健康センターの再開について
【保健福祉部 地域包括ケア推進課】
 - 4 小山市コミュニティバス「おーバス」利用促進プロジェクトが
グッドデザイン賞を受賞しました
【都市整備部 都市計画課】
 - 5 小山市豊田中学区新設小中一貫校(小学校)建設工事
安全祈願祭(起工式)の挙行について ～地域の新たな顔を目指して～
【教育委員会 教育総務課】
 - 6 小山市内学校全学級に書画カメラの整備を完了
～ICT活用の日常化で分かる・できる授業を実践～
【教育委員会 教育研究所】
- 4 閉会

記者会見資料

秘書広報課

1. 件名

小山市 インスタグラム フォト募集について
～みなさんの「#小山の魅力」を教えてください！～

2. 内容

この度、小山市では、「Instagram（インスタグラム）」を利用した、市民や小山市を訪れた方々が撮影した写真の募集を行います。

この募集は、小山の魅力を捉えた写真を広く募り、その写真を広報紙やSNSで発信し、市内外に小山市の魅力を伝えることにより、シビックプライド（市民の愛着度）の醸成、小山市の認知度向上、小山市のPRを目的とするものです。

3. 募集テーマ

・小山市の四季の移ろいを捉えた風景 ・小山市のPRとなるもの

4. 募集方法

- (1) 「Instagram」をインストールして、小山市公式アカウント（アカウント名：
@tochigiyoama）をフォローします。
- (2) 小山市の魅力ある写真を撮影します。
- (3) ハッシュタグ「#小山の魅力」を付けて、写真を投稿します。

5. 募集に関する留意事項ほか

別添「小山市 インスタグラム フォト募集 要項」参照

6. 問合せ

小山市 秘書広報課 小山の魅力発信室（TEL：0285-22-9353）



小山市 インスタグラム フォト募集 要項

1. 目的

小山市の魅力を捉えた写真を広報紙やSNSで発信し、市内外に小山市の魅力を伝えることによるシビックプライドの醸成および小山市の認知度向上、小山市のPRを目的として、「Instagram」を活用した、市民や小山市を訪れた方々が撮影した写真の募集を行うものです。

2. 募集テーマ

- ・小山市の四季の移ろいを捉えた風景
- ・小山市のPRとなるもの

3. 募集方法

- (1) Instagram をインストールして、小山市公式アカウント(アカウント名:@tochigiyoama、ユーザー名:開運のまち おやま)をフォローする。
- (2) 小山市の魅力ある写真を撮影する。
- (3) ハッシュタグ「#小山市の魅力」を付けて、写真を投稿する。
※できるかぎり、キャプションに【撮影場所】を記載する

4. 留意事項

- (1) 投稿する写真は、本人が撮影した、すべての著作権を有するものに限ります。
- (2) 1投稿につき、写真は1枚とします。
- (3) 個人アカウントを「公開」に設定すること。
- (4) 過去に撮影・投稿した写真も可とします。
- (5) 画像の加工、組み写真の投稿も可とします。
- (6) 人物が写っている写真は、事前に当該人物の了承を得ること。
- (7) 投稿された画像の著作権は、応募者に帰属しますが、小山市は投稿された画像を必要に応じて加工(トリミングなど)して、広報おやま、小山市公式ホームページ、SNS 公式アカウント(Facebook、Twitter、Instagram)、小山市が制作する印刷物等、小山市の広

報媒体全般で利用できるものとし、投稿者への写真利用許諾申請などは原則行いません。

※データ提供を求めするため、投稿者に対してInstagramのメッセージ機能で連絡することはあります。

(8) 広報おやまの表紙に写真が採用された場合は、広報おやま内で、アカウント名の紹介をさせていただくとともに、ギフトカード 1,000 円分を進呈します。

(9) 投稿する画像において、肖像権や著作権等の第三者の権利侵害があった場合は、小山市は一切の責任を負いません。投稿により生じた損害等についても同様とします。

(10) この募集は、Instagram が支援、運営、関与するものではありません。

5. 問合せ

小山市 秘書広報課 小山の魅力発信室

(小山市役所 〒323-8686 小山市中央町 1-1-1)

TEL:0285-22-9353 メール:oyamacity@city.oyama.tochigi.jp)

記者会見資料

総合政策部 総合政策課

1. 件 名

小山市役所新庁舎の建設工事現場見学会の開催について
～順調・着実に工事が進む新庁舎の工事現場を見学できるチャンスです～

2. 内 容

小山市役所新庁舎整備事業は、令和元（2019）年8月1日に本体工事に着工し、現在、外装工事や床躯体工事を進める等、令和3（2021）年3月の完成に向けて、順調に工事を進めております。

今回、市民の皆さまに新庁舎を身近に感じ、新庁舎整備事業への理解を深めていただくため、次のとおり市役所新庁舎の建設工事現場見学会を開催いたします。

応募は10月13日までとなりますので、多くの方々のお申込みをお待ちしています。

- (1) 名 称 小山市役所新庁舎建設工事現場見学会
- (2) 日 時 令和2（2020）年10月24日（土）
① 午前 9時 ～ 午前10時
② 午前11時 ～ 正午
③ 午後 1時 ～ 午後 2時
④ 午後 3時 ～ 午後 4時
- (3) 流 れ 工事事業者の現場所長等の案内により、工事現場を見学します
現地集合・現地解散を予定しています
(①～④とも、同じ内容になります)
- (4) 応募方法 WEB（かんたん申請）での申し込みとします
詳細は、市公式HP及び広報おやま10月号にも掲載します
※締め切りは10月13日（火）午後5時を予定
※安全に実施するため各回参加者は20名程度とします
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます
- (5) その他 新庁舎の完成後にも見学会（内覧会）を予定しています
日程等詳細は現在調整中です

※ 新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で実施しますので、参加者の皆さまにもご協力をお願いいたします。なお、感染拡大の状況によっては、中止となる場合があります。

記者会見資料

保健福祉部 地域包括ケア推進課

1. 件名

小山市ふれあい健康センターの再開について

2. 内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日より小山市ふれあい健康センターは休館しておりましたが、9月8日からの試行再開を経て、10月1日より小山市民の方の入浴に限定して再開いたします。

3. 利用について

- | | |
|------------|--|
| ①利用者の制限 | 小山市民限定 |
| ②サービス内容の制限 | 入浴のみ |
| ③営業時間 | 午前10時から午後5時まで
1クール60分
1日5クール |
| ④営業日 | 通常通り（休館日：月曜日、冬至の日の翌日、年末年始） |
| ⑤利用方法 | 予約制（電話または窓口にて受付）
定員は1クールあたり男女各5名、計10名
※定員に満たない場合は当日利用可 |
| ⑥入館時の注意事項 | 入館時のマスク着用（未着用の方は入館不可）
体温測定（37.5℃以上は入館不可）
手指消毒（アルコール消毒液）
入館票の記入（氏名・住所・連絡先） |

4. お問い合わせ先

小山市ふれあい健康センター 0285-30-3700

記者会見資料

都市整備部 都市計画課

1 件 名

小山市コミュニティバス「おーバス」利用促進プロジェクトがグッドデザイン賞を受賞しました

2 要 旨

小山市では、2018年度から地方創生推進交付金を活用し、おーバスの利用促進に取り組んでおり、この度、この取り組みが、「2020年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

<事業の概要>

- ・ 渡良瀬ライン、ハーヴェストウォーク線の新設等
- ・ バスロケーションシステムの導入
- ・ 7割引全線共通定期券「おーバス noroca」の導入
- ・ 生活情報誌「Bloom!」1～3号を市内全戸配布
- ・ facebook・Twitterの開設・情報発信

<事業の主な効果>

- ・ おーバスの利用者数増加（66万人^(2017年度)→73万人^(2019年度)）
- ・ 定期券をお持ちの方の人数増加（2.1倍）
- ・ 学生定期をお持ちの方の人数増加（3.8倍）
- ・ おーバスに関するお叱りのメール、電話の減少（10分の1）

<グッドデザイン賞の審査員評価>

利用者の減少により地方の公共交通機関は維持することが難しくなっている。廃線となれば、地域の空洞化は避けられない。そこで「おーバス」は収入が減少しない範囲で値下げし、全線乗り放題、設備投資を抑えるために紙製の定期券とした。それにより数年で66万人から73万人に増加。シンプルな施策かもしれないが、とても効果的であったことがわかる。この取組は日本全国の地域で参考にさせていただきたいと思う。

3 その他

情報解禁 10月1日 13:30～
(取扱注意)

4 問合せ

都市計画課 都市交通推進室 新交通・コミュニティバス推進係（電話 0285-22-9293）



GOOD
DESIGN
AWARD
2020

小山市と「おーバス」の取り組みは、
地域公共交通活性化プロジェクトとして
グッドデザイン賞を受賞しました。



超クルマ社会へ挑む
モビリティ・マネジメント

「バスのある暮らし」を
リデザイン

栃木県小山市では、移動手段・街・ヒトのより良い関係を考える「モビリティ・マネジメント」の考え方にに基づき、市の運営する「おーバス」と市民の関係のリデザインに取り組みました。

デザインのチカラで、バスに乗る人が増えました!

Point

①

コミュニケーションのデザイン

ターゲット:全市民16.7万人
257自治会・大型事務所・学校と協働配布



バスの価値×生活情報紙「Bloom!」

18万部
配布達成

Point

②

定期券の仕組みのデザイン

7割引全線共通定期券「noroca」
企画発売、運賃値下げと増収を両立



定期券を持っている人

2.1倍

Point

③

バスの運用・運営のデザイン

新規路線×2、増便×4、
オンライン・バスロケシステムの導入



「おーバス」利用者(年間)

66 → 73 万人

「おーバス」と小山市民の絆が深まりました!

クレームの電話・メールが
激減しました!

1/10 件/月

「Bloom!」発行前の平均値と発行後8ヶ月間を比較

Facebookの投稿に
いいねが次々と!

2,000 いいね!

応援・励ましのメッセージを
たくさんいただいています!

405 通

情報紙「Bloom!」に対していただいた反響

市民の声
3歳の息子は、Bloom!
の路線図 ポロポロに
なってもテープで貼って
大切に大切に
見えています

若者がバスを使うように
なりました!

3.8倍

定期券保有者数:平成30年度平均約15.3人、令和2年6月時点:58人



「おーバス」のことが好きな人が
増えました!

10% UP

アンケートで「おーバス」のことが好きと答えた方の割合

市民の声
Bloom!を通じて
おーバスの魅力が小山
市民の方々に届いて
いると思います

まちに愛着をもつ人も
増えました!

5% UP

アンケートで小山に愛着があると答えた方の割合



小山に生きる。おーバスが活きる。コミュニティバスと街とヒトの好循環は続いていきます。

記者会見資料

教育委員会 教育総務課

1. 件 名

小山市豊田中学区新設小中一貫校（小学校）建設工事安全祈願祭（起工式）の
挙行について

～地域の新たな顔を目指して～

2. 内 容

豊田中学区において小中一貫校となる新設小学校につきましては、令和4年4月に開校を予定しており、10月に校舎・屋内運動場の建設工事（建設工事・建設電気設備工事・建設機械設備工事）に着工します。この度、安全な工事の実施に向けて、以下のとおり安全祈願祭（起工式）を挙行いたします。

3. 日 時

令和2年10月14日（水）

受付 午前10時30分より

神事 午前11時00分より

4. 場 所

小山市大字松沼416番地1 ほか

（新設校建設予定地・豊田中学校の北の用地）

5. 主 催（施工者）

板橋・斉藤・鯉沼特定建設工事共同企業体

青電工・アスライブ特定建設工事共同企業体

長・アスライブ特定建設工事共同企業体

6. 新設校について

豊田南小学校と豊田北小学校を統合した新設小学校は、令和4年4月の開校を目指しています。校舎や屋内運動場の設計は本年1月をもって完了しました。

近接の豊田中学校との小中一貫校となる新設校の校舎は、木造を取り入れ、木材をふんだんに使用した温かみのある「木の学校」となります。地域の新たな顔として誰からも親しまれる学校となるよう期待しています。

記者会見資料

教育委員会 教育研究所

1. 件 名

小山市内学校全学級に書画カメラの整備を完了
～ I C T 活用の日常化で分かる・できる授業を実践～

2. 内 容

小山市では、令和元年度から市内小学校・中学校・義務教育学校への書画カメラ追加整備を開始し、令和2年9月末までに、合計630台を配備しました。予算は、総額で約54,000千円（5年リース）です。

全学級に常設することで、I C T 活用に日常化し、より分かりやすい授業が実践できるようになりました。また、書画カメラにP C やマイクを併用することで、オンライン授業の際には、W e b カメラとしても活用することができます。

学校では、書画カメラを大型テレビやP C 等に接続して、教師や児童生徒の活用が進んでいます。

（活用例）

- ・教科書やノート、作業、実験のようす等を拡大表示して解説や演示をする。
- ・資料や作品等を、書き込んだり、指し示したりしながら発表や説明をする。
- ・1つの場所から複数の教室に、授業や集会、発表（合唱等）、式典（卒業式等）をオンライン配信する。

教職員や児童生徒には、まずは書画カメラを活用することにより、I C T を身近なものとしてとして慣れ親しみ、今後整備が進むタブレット端末とともに活用することで、より効果的な学びにつなげてもらいたいと考えます。

3. 取材について

市内学校における活用の様子取材していただける場合は、調整いたします。教育研究所まで御一報ください。